

## ビジネスパートナーとともに

### CSR調達推進

#### お取引先とともにCSR調達を推進

##### 「調達方針」と「CSR調達基準」を公開

ブラザーグループは、部品・材料を調達するお取引先の皆さまにCSR調達の考え方を共有していただくために、「調達方針」と「CSR調達基準」を公開しています。環境に配慮した部品・材料を優先的に購入する「グリーン調達」に加え、人権・労働、安全衛生、公正取引・倫理、品質・安全性、情報セキュリティー、社会貢献などの分野にも広がっています。ブラザーグループは、お取引先の皆さまとともにCSR活動を推進していきます。

##### 調達方針

- ・すべてのお取引先に対して、公平・公正な取引を行います。
- ・活動する国や地域における関連法規、規則を順守し、お取引先と相互信頼関係を築いて、成長し合うことを目指します。
- ・地球環境に配慮したグリーン調達を推進し、製品のライフサイクルを通じた環境への負荷を低減します。
- ・あらゆる場面でお客様を第一に考え、優れた品質と適正なコストの追求に努めます。
- ・紛争鉱物\*問題を重要な課題としてとらえ、責任ある鉱物調達の実践に取り組みます。

\*: 紛争地域で不当な方法で採掘された鉱物。その取引は武装勢力の資金源となり、紛争地域での人権侵害、労働問題、環境破壊等への関与が指摘されています。

##### CSR調達基準 (お取引先へのお願い)

- ・すべての人の基本的人権を尊重し、不当な労働の強制、児童就労などは行わないでください。
- ・従業員の安全と健康を確保し、安全で働きやすい職場環境づくりに取り組んでください。
- ・地球環境への配慮に前向きに取り組んでください。
- ・関連法規、規則を順守し、公平・公正で最高度の倫理感を持った取引を行ってください。
- ・お客様に安全かつ優れた品質の製品をお届けするための仕組みづくりに、取り組んでください。
- ・情報管理体制を構築し、個人情報、機密情報を、適切に管理してください。
- ・地域社会に対する社会的・経済的・文化的責任を可能な限り分担することにより、よき企業市民となるよう努力してください。
- ・紛争地域において不当な方法で採掘された鉱物を、原材料として使用しないよう努力してください。

▶英語版 調達の方針・基準 <http://www.brother.com/en/csr/partner/purchase/index.htm#02>

▶中国語版 調達の方針・基準 <http://www.brother.com/cn/csr/partner/purchase/index.htm#02>

## ビジネスパートナーとともに

### CSR調達の推進

#### お取引先とともにCSRのレベルアップを目指す

##### CSR調達を推進するために、アンケートを実施

ブラザーグループは「ブラザーグループグローバル憲章」のもと、お客様、従業員などブラザーに関わるすべての人々に信頼される企業を目指し、CSRへの取り組みをさまざまな分野で続けてきました。そして、その考え方を部品・材料を調達するお取引先の皆さまにも共有していただくため、これまで各地で「CSR勉強会」を開催してきました。しかし、CSR活動は安全衛生から地球環境への配慮にまで対象範囲が広く、お取引先のCSR活動として取り組まれているのか把握ができていませんでした。

そこで、2011年よりCSRアンケートを作成し、CSRレベルの"見える化"のための取り組みがスタート。ブラザー独自の情報連携基盤、B'snet Portalなどを活用し、2013年には300社以上からのアンケートを集計することができました。今回使用したCSRアンケートの内容は、ブラザーが掲げるCSR調達基準をより詳しく解説した内容になっており、このアンケートがさらにCSR調達を推進するきっかけにもなりました。各お取引先のCSRレベルが把握できたことで、ブラザーグループ各地のCSR担当者がお取引先の現状に合わせた改善、推進活動を行うことが可能となります。これにより、CSRレベルの底上げが期待できると考えています。



ブラザーグループとお取引先(サプライヤー)を繋ぐ情報連携基盤、B'snet Portalを通じてアンケートを回収

ブラザーグループとお取引先(サプライヤー)を繋ぐ情報連携基盤、B'snet Portalを通じてアンケートを回収

## ビジネスパートナーとともに

### CSR調達の推進

#### お取引先のCSR活動状況を把握し、改善活動を推進

##### CSRアンケートを基にお取引先と協力し、CSR推進活動を実施

2014年は、2013年のアンケート結果を基に、ブラザーグループ各地のCSR担当者がお取引先各社のCSRレベルを把握。ブラザーの基準に照らし合わせ、改善すべき項目のあったお取引先には、改善計画を立案・実行していただき、ブラザーの担当者がその結果の視察に伺いました。

あるお取引先A社では、廃棄物の排出抑制ならびに分別方法の教育計画を立案。社内で使用した紙を分別してリサイクルしたり、廃棄物分類表を作成してゴミ分別を徹底するための勉強会を行いました(資料1)。お取引先B社では、温室効果ガスの削減ならびに資源の節約について改善計画を策定し、1年で電気使用量約5%、重油使用量約11%、水使用量約12%の削減に成功しました(資料2)。また、運搬資材の再利用により、廃棄物削減にも成果を上げました。

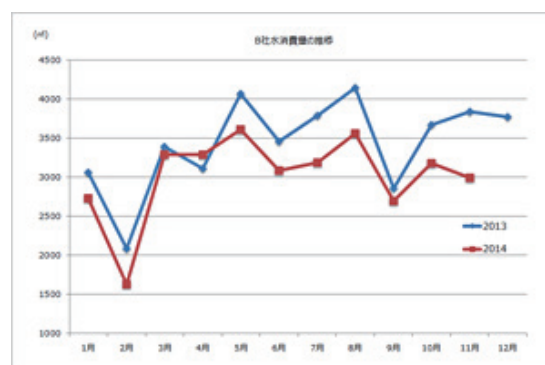


Loại rác thải		Loại rác thải	
1	Giấy vụn, giấy thừa	Giấy vụn, giấy thừa	Giấy vụn, giấy thừa
2	Giấy vụn, giấy thừa	Giấy vụn, giấy thừa	Giấy vụn, giấy thừa
3	Giấy vụn, giấy thừa	Giấy vụn, giấy thừa	Giấy vụn, giấy thừa
4	Giấy vụn, giấy thừa	Giấy vụn, giấy thừa	Giấy vụn, giấy thừa

資料1: お取引先A社勉強会の様子(左)と廃棄物分類表(右)

今回の視察を通じて、アンケート結果からは浮かび上がらなかった部分にも改善の余地が潜んでいることが分かってきました。アンケートの中に「不正を素早く発見するために、通報窓口を設置していますか」という設問がありますが、「ある」と答えた会社の中に「メールボックスを設置しているが、ここ数年何も投稿がない」という会社がありました。これに対しブラザーからは「会社に対する意見を伝えられる風土の醸成や、従業員の教育・意識啓発を行っていく必要があるのでは」と提案させていただきました。お取引先からは「CSR活動に対する知識向上のために様々な取り組みを行ってくれていることは、とてもありがたい。今後も積極的にCSR活動を推進していきたいと思えます」という声が寄せられました。お取引先がCSR活動に対して自主的・積極的に取り組めるようになることがこの活動の最大の目的です。

ブラザーグループでは、今後もCSRアンケート活動を継続的に続け、サプライチェーンと一体となってCSRレベルの向上に努めていきます。



資料2: お取引先B社水消費量の推移